



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 中央電気工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5566 URL <http://www.chu-den.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西野 隆夫

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 榊原 道治

TEL 03-3514-0511

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	31,456	△10.7	438	—	320	—	△3,295	—
25年3月期第3四半期	35,226	△11.4	△817	—	△804	—	△1,037	—

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 △3,084百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △1,042百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
26年3月期第3四半期	△104.38	—	
25年3月期第3四半期	△32.86	—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
26年3月期第3四半期	40,326	—	22,333	—	55.2	—	705.33	
25年3月期	40,912	—	25,501	—	62.0	—	803.77	

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 22,268百万円 25年3月期 25,376百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	0.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	△12.4	300	—	300	—	△3,200	—	△101.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	31,600,000 株	25年3月期	31,600,000 株
26年3月期3Q	28,044 株	25年3月期	27,986 株
26年3月期3Q	31,571,991 株	25年3月期3Q	31,572,070 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は発表日現在のデータに基づき作成したものであり、様々な不確定要素を含んでおりますので、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】3P.「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 会社の対処すべき課題	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

(合金鉄事業)

当第3四半期連結累計期間の合金鉄の販売数量は、シリコマンガンの販売減により、前年同期比約4%の減となりました。当該事業を取り巻く環境は、マンガ系合金鉄市況においては、当第2四半期連結会計期間末より若干上昇したものの長引く欧州経済の不振により依然低い水準であることに加え、製造コストで大きな比重を占める電力価格も高止まりしており、業績低迷を余儀なくされております。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比べ約11%減少し、147億3千8百万円、営業利益は3億3千百万円となりました。

(機能材料事業)

ハイブリッド自動車向けニッケル水素電池用水素吸蔵合金の販売数量は、当該自動車の好調な生産を反映し第3四半期連結累計期間で前年同期比約4%の増加となりました。磁石用合金は、国内での焼結磁石生産の増加により、販売数量も回復しております。

機能材料事業の主要な原材料であるレアアースの購入価格は、当第2四半期連結会計期間以降において下げ止まり傾向となっておりますが、原材料を主体とする棚卸資産の評価損を約2億円計上しております。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比べ約12%減少し、161億5千2百万円、営業利益は5千3百万円となりました。

(その他)

その他については、土木関連事業において、厳しい事業環境下ではありますが、売上高5億6千5百万円、営業利益5千3百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、受取手形及び売掛金の増加はあったものの、たな卸資産、繰延税金資産及び減損処理による有形固定資産の減少等により、前連結会計年度末に比べ5億8千6百万円減少し、403億2千6百万円となりました。

負債につきましては流動負債の「その他」に含まれます「未払消費税」の減少があったものの、支払手形及び買掛金の増加等により前連結会計年度末に比べ25億8千1百万円増加し、154億4千4百万円となりました。

純資産は当第3四半期連結累計期間の純損失による利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べ31億6千7百万円減少し、222億3千3百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務は増加したものの、売上債権が大きく増加したことにより3億2千万円の支出となりました。設備投資等の投資活動で18億1千7百万円使用し、長期借入金を借入れたこと等による財務活動で5千9百万円の収入となった結果、当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ28億1千万円減少し、34億6千9百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

合金鉄事業は、為替レートについては是正されましたが、欧州経済の不振が継続する場合のマンガン系合金鉄市況の下落やマンガン鉱石価格・電力価格が上昇する場合のコストアップが懸念されます。

機能材料事業においては、ハイブリッド自動車向けニッケル水素電池用酸素吸蔵合金の好調な販売や磁石用合金の販売数量の回復が予想されますが、レアアース価格が再び低下傾向となる場合は、棚卸資産への評価損拡大が懸念されます。

こうした中、コスト面で、合金鉄事業、機能材料事業とも損益向上のために固定費を始めとし一層のコスト低減を実施するとともに、収益基盤の強化を図って参ります。

以上により、通期の業績予想は以下のとおりであります。

連結売上高	380億円
連結営業利益	3億円
連結経常利益	3億円
連結当期純損失	▲32億円

なお、上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、需要動向の変化、国際市況の変化など、多くの不確定要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により上記業績予想とは異なる場合があることをご承知おさください。

(4) 会社の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題は次のとおりであります。

平成26年7月1日に予定されている日本電工株式会社及び当社の経営統合により、当社グループは、両社の合金鉄、機能材料、環境の各事業を融合した企業グループとなります。両社共通の主要事業である合金鉄事業においては、長年培ってきたノウハウを結集し、競争力強化に注力いたします。加えて、多様な需要が見込まれ、今後の飛躍が期待される機能材料事業及び環境事業においては、選択と集中により市場ニーズへの対応力、製品開発力の強化を図り、環境調和型社会、循環型社会の構築に貢献して参ります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,689,724	3,469,378
受取手形及び売掛金	8,000,850	12,535,084
商品及び製品	4,296,292	3,369,918
仕掛品	156,364	285,292
原材料及び貯蔵品	9,935,680	10,283,094
繰延税金資産	1,102,483	6,202
その他	997,330	743,783
貸倒引当金	△60	△60
流動資産合計	30,178,666	30,692,693
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,089,959	2,460,131
機械装置及び運搬具(純額)	3,381,359	2,475,504
土地	967,881	975,900
リース資産(純額)	156,512	70,336
建設仮勘定	421,009	403,079
その他	204,262	239,106
有形固定資産合計	8,220,985	6,624,058
無形固定資産		
のれん	193,751	192,571
その他	61,726	60,550
無形固定資産合計	255,477	253,121
投資その他の資産		
投資有価証券	1,004,725	1,451,851
長期貸付金	37,975	27,973
繰延税金資産	36,854	3,492
前払年金費用	839,601	860,046
その他	341,931	416,300
貸倒引当金	△3,337	△3,300
投資その他の資産合計	2,257,750	2,756,362
固定資産合計	10,734,213	9,633,543
資産合計	40,912,879	40,326,237

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,661,450	8,138,334
短期借入金	5,700,000	5,700,000
1年内返済予定の長期借入金	30,000	38,508
リース債務	92,353	24,709
未払法人税等	23,891	23,170
賞与引当金	32,540	—
その他	1,513,168	1,322,688
流動負債合計	13,053,403	15,247,411
固定負債		
長期借入金	2,070,000	2,142,238
リース債務	64,159	45,627
繰延税金負債	142,785	458,256
退職給付引当金	73,701	76,758
その他	7,550	22,392
固定負債合計	2,358,195	2,745,271
負債合計	15,411,598	17,992,682
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,630,000	3,630,000
資本剰余金	5,251,753	5,251,753
利益剰余金	16,219,487	12,924,036
自己株式	△22,377	△22,397
株主資本合計	25,078,863	21,783,393
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	308,667	443,364
為替換算調整勘定	△10,923	41,779
その他の包括利益累計額合計	297,744	485,144
少数株主持分	124,673	65,017
純資産合計	25,501,281	22,333,554
負債純資産合計	40,912,879	40,326,237

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	35,226,117	31,456,297
売上原価	33,974,369	29,058,016
売上総利益	1,251,747	2,398,280
販売費及び一般管理費	2,069,348	1,959,801
営業利益又は営業損失(△)	△817,600	438,479
営業外収益		
受取利息	12,705	4,420
受取配当金	20,084	29,273
為替差益	70,056	178,623
その他	54,633	16,086
営業外収益合計	157,480	228,403
営業外費用		
支払利息	55,345	39,693
減価償却費	48,977	110,017
債権売却損	15,285	5,245
経営統合関連費用	—	113,522
その他	24,987	78,344
営業外費用合計	144,595	346,824
経常利益又は経常損失(△)	△804,716	320,057
特別利益		
投資有価証券売却益	—	73,457
国庫補助金	48,164	—
その他	666	1,333
特別利益合計	48,831	74,790
特別損失		
固定資産除却損	23,925	33,846
固定資産圧縮損	48,164	—
減損損失	560,842	2,199,531
工場閉鎖損失	66,953	—
その他	9,084	3,400
特別損失合計	708,970	2,236,777
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,464,855	△1,841,929
法人税、住民税及び事業税	621,258	67,998
法人税等調整額	△1,019,323	1,372,060
法人税等合計	△398,064	1,440,058
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,066,790	△3,281,988
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△29,486	13,462
四半期純損失(△)	△1,037,304	△3,295,450

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,066,790	△3,281,988
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,409	134,696
為替換算調整勘定	17,196	62,437
その他の包括利益合計	24,606	197,134
四半期包括利益	△1,042,184	△3,084,853
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,016,639	△3,108,051
少数株主に係る四半期包括利益	△25,544	23,197

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,464,855	△1,841,929
減価償却費	1,133,003	922,873
減損損失	560,842	2,199,531
工場閉鎖損失	66,953	—
のれん償却額	80,815	89,994
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10	△37
前払年金費用の増減額(△は増加)	△34,232	△20,445
受取利息及び受取配当金	△32,790	△33,693
支払利息	55,345	39,693
会員権評価損	4,699	200
固定資産除却損	20,422	33,846
売上債権の増減額(△は増加)	125,927	△4,534,233
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,485,851	450,031
未収入金の増減額(△は増加)	△63,965	110,650
未収消費税等の増減額(△は増加)	127,108	△222,856
前払費用の増減額(△は増加)	△217,874	△189,118
前渡金の増減額(△は増加)	—	46,472
仕入債務の増減額(△は減少)	500,497	2,476,884
前受金の増減額(△は減少)	138,409	37,774
未払費用の増減額(△は減少)	117,228	21,394
未払消費税等の増減額(△は減少)	391,896	△445,366
その他	48,497	△61,706
小計	7,043,791	△920,040
利息及び配当金の受取額	30,195	33,287
利息の支払額	△52,772	△39,817
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,061,738	459,566
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,959,476	△467,004
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△157,662	△329,405
有形及び無形固定資産の取得による支出	△909,204	△1,323,639
投資有価証券の売却による収入	—	163,487
子会社株式の取得による支出	—	△166,066
短期貸付けによる支出	—	△98,310
長期貸付金の回収による収入	8,162	10,002
その他	△24,573	△10,912
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,083,279	△1,754,844
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,000,000	—
長期借入れによる収入	—	85,000
長期借入金の返済による支出	—	△4,254
配当金の支払額	△317,705	△2,557
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△57,958	△18,532
その他	△11	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,375,675	59,636
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23,264	△58,133
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,477,257	△2,220,346
現金及び現金同等物の期首残高	4,802,329	5,689,724
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,279,586	3,469,378

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	合金鉄事業	機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	16,517,057	18,297,978	34,815,036	411,081	35,226,117	—	35,226,117
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	119,780	119,780	△119,780	—
計	16,517,057	18,297,978	34,815,036	530,861	35,345,897	△119,780	35,226,117
セグメント利 益又は損失 (△) (営業利益)	△752,801	△109,775	△862,576	41,950	△820,626	3,026	△817,600

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額3,026千円は、固定資産における未実現損益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「機能材料事業」セグメントにおいて、当社妙高工場が保有するマンガ系無機化学品用事業資産の収益性の低下がみられるため減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は当第3四半期連結累計期間においては560,842千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	合金鉄事業	機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	14,738,460	16,152,110	30,890,570	565,726	31,456,297	—	31,456,297
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	122,060	122,060	△122,060	—
計	14,738,460	16,152,110	30,890,570	687,786	31,578,357	△122,060	31,456,297
セグメント利 益(営業利益)	330,661	53,705	384,366	53,536	437,902	576	438,479

(注) セグメント利益の調整額576千円は、セグメント間取引消去490千円及び固定資産における未実現損益86千円であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「合金鉄事業」セグメントにおいて、当社鹿島工場が保有するマンガ系合金鉄用事業資産の収益性の低下がみられるため減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は当第3四半期連結累計期間においては2,192,021千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。